



モニタリング活動報告(10、11月)

この頃寒くなってきました。モニタリングの時は、風邪を引かないように防寒対策をしっかりとってくださいね！



目次

- モニタリング活動報告
- 油ヶ淵特別展 龍燈の湖
が開催されています
- あいち・なごやESD交流フェスタに
出展しました
- 水質パトロール隊活動報告
- 連載 油ヶ淵の生きもの④
- 特集 アクション油ヶ淵 in 高浜

〇 10月〇 いつもの80cmの鯉が迎えてくれて嬉しいです。水量は少ないです。(一部抜粋) 【神橋】
〇 前日の台風の後には、水が少なかった。 【J R新幹線・上流右岸・都下】

〇 11月〇 油ヶ淵の水位が低く、半場川出口の白砂帯がきれいに見えた。 【上池左岸・流入農排】

〇 長田川本流 ボラの群れ確認 【長田橋上流左岸・流入都下】
〇 排水路工事の為、土・どろが混入し透明度悪化。 【(準) 茨池川上流・農排】

〇 水の流れは少ないが、見た目の水はきれいです。小魚はいるが、大型の鯉等は見当たらない。 【(準) 新田川・惣山橋】

★この時期は水が澄み、水質もよくなる傾向があります。皆さんのデータを見ていても、水質が良い結果が出ている地点が多いようです。

油ヶ淵特別展 龍燈の湖

が開催されています

安城市歴史博物館では、11月22日(土)から、特別展「龍燈の湖(うみ)ー油ヶ淵の過去・現在・そして未来へー」を開催しています。

油ヶ淵の成立から現代までの歴史や油ヶ淵と人々の関わりについて取り上げた特別展で、油ヶ淵最後のカワムシ(川舟)など油ヶ淵に関する貴重な資料が展示されるとともに、記念講演会や講座、葦船づくりの体験教室も催されます。

また、油ヶ淵水質浄化促進協議会も共催しており、協議会の取組内容の他、油ヶ淵の水質汚濁の歴史やその仕組みの説明、モニタリングの道具が展示されています。

油ヶ淵について、更に詳しくなれること間違いなし。皆さんぜひ足をお運びください！

開催日時：平成26年11月22日(土)～平成27年1月25日(日)

開催場所：安城市歴史博物館(安城市安城町城堀30番地)

観覧料：大人300円(中学生以下無料)

休館日：毎週月曜日(1月12日は開館)12月28日(日)～1月4日(日)

お問合せは、安城市歴史博物館(0566-77-6655)まで。



あいち・なごやESD交流フェスタに出展しました

11月10日～12日に開催された「ESDユネスコ世界会議」に併せて、愛知県内の様々な会場で併催イベントが開催されました。

私たちの今の暮らしと未来とのつながりを考え、そして行動すること、それが「ESD」です。油ヶ淵水質浄化促進協議会では、より良い油ヶ淵を次世代に残すために活動されている方々の協力を得て、8～12日の5日間にわたって、オアシス21等で行われた「あいち・なごやESD交流フェスタ」にブース出展を行いました。



←来場者に葦船の説明をしています。大きな船に皆さん興味津々！



→今回展示した葦船「きずなまる」。二人用の葦船です。



→透視度の体験。水道水と油ヶ淵の湖水を見比べていただきました。



←今回のブース出展は午後7時までの長丁場。外は真っ暗です。

ブースでは、協議会の取組やモニタリンググループとして活動している西端小学校エコクラブの取組などの紹介、水質調査体験教室、油ヶ淵美化ネットの協力のもと葦船の展示等を行いました。ブースに訪れた方は、「油ヶ淵」自体を知らないという方が圧倒的多数！水質調査体験教室では、実際に油ヶ淵で採水した水を使ってCODバックテストと透視度計の体験をしていただきました。西端小学校のパネルを見て、ホテルの保全活動に興味を持たれる方も多く見えました。

葦船は実際に油ヶ淵で人が漕いでいた約5mの大きさのものを展示。訪れた子どもたちはオールを持って船に乗り、乗船の気分を味わっていました。また、この葦船を見て、「ペルールのチチカカ湖の船？」と質問する方も。この湖では、トトラという葦を使った船が日常的に使用されているそうです。油ヶ淵の葦を使っていますと答えると、とても驚いていました。

今回のブース出展は、多くの方に油ヶ淵を知っていただき、また油ヶ淵で行われている様々な取組や活動を知っていただけた良い機会になりました。ご協力いただいた皆さん、ご来場いただいた皆さん、ありがとうございました！



★ご協力いただいた皆様★

- ・きさら 高木様
- ・エコネットあんじょう河川部会 辰田様、伊藤様
- ・へきなん市民環境会議 杉浦様、辻様、宮本様
- ・油ヶ淵美化ネット 山中様
- ・西端小学校エコクラブ 様
- ・安城市歴史博物館 様

水質パトロール隊活動取材

今回はゴーウィングスさんの活動を紹介しますよ！

ゴーウィングスは、小学5年生の女の子、小学3年生の男の子、お父さん、お母さんで活動しているグループです。水質パトロール隊での活動は今年で3年目になります！

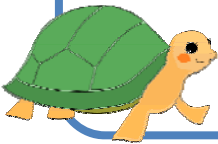
今回の取材は、8月30日（土）に扇川で行いました。扇川の水質及び生きものを家族で協力して調査します。CODと透視度の結果は、扇川の上流に近づくにつれて良くなっていき、上流のCODの最低値は7mg/L、透視度は100cmでした。



また、生きもの観察では、シラサギやカメ等様々な種類を観察することができ、生きものを見つける度に子どもたちは喜んでメモをとっていました。

また、これらの活動について、子どもたちは「楽しい。これからも続けていきたい。」「生きものが好きだから汚れてほしくない。」と話していました。

もっと綺麗な水になるといいな！



油ヶ淵のいきもの 第4回

このコーナーでは、油ヶ淵に足を運べば簡単に見られるような、ポピュラーな生き物を取り上げていく予定です。

今回は、油ヶ淵流域でよく目にする外来種をご紹介します！



右：油ヶ淵上池で発見したスクミリンゴガイ。殻の大きさは約6cmほどでした。

左：油ヶ淵下池で発見した卵塊。3cmくらいです。とても鮮やかなので、すぐ目につきます。

No.4 スクミリンゴガイ 分類 かい



通称「ジャンボタニシ」。鮮やかなピンクの卵塊を産む、大型の淡水性の巻き貝です。現在、要注意外来生物（環境省）、県条例※の移入種に指定されている外来種です。川や用水路、池などでよく見られ、油ヶ淵流域でも広く発生しています。元々は食用として80年代に輸入されました。雑食性で、稲などの食害や、従来の生態系への影響が懸念されています。

卵塊は、水際から50cmほど上がった植物の茎やコンクリート壁に産み付けられます。卵は水中では生存できないため、見つけた場合は水中に落とすことで孵化を防げます。

※自然環境の保全及び緑化の推進に関する条例

★紹介した生き物は、Webサイト「油ヶ淵電子図書館」のコンテンツ「生きもの発見！図鑑」にも掲載しています。

特集 アクション油ヶ淵 in 高浜

油ヶ淵水質浄化促進協議会は、平成26年10月7日(火)、高浜市中央公民館にて「アクション油ヶ淵 in 高浜」を開催しました。台風一過であった当日は、約300名もの方々にご来場いただきました。ありがとうございました。ありがとうございます！

☆ ☆ ☆

「アクション油ヶ淵」では、一昨年度より、永年油ヶ淵流域水環境モニタリング活動を行い水環境保全に貢献されてきたグループに、感謝状を贈呈しています。今回は、高浜市内で活躍している3グループの皆さんに感謝状を贈呈しました。今回で、対象となるモニタリンググループの皆さんに対して感謝状をお渡しできました。永年活動しているグループも、新しく参加いただいたグループも、ますますのご活躍を期待しています！

感謝状贈呈グループ



森岡愛知県副知事より、感謝状が贈呈されました！



エコひまわり

NPOたかはま



高取小学校ひえ田川クラブ

編集後記

ぐっと冷え込むようになり、冬がすぐそこにまで来ていますね。

油ヶ淵には、渡り鳥が集まってきました。近年では毎年5種以上は確認されています。今年はどんな鳥が飛来するのでしょうか？双眼鏡を持ってぜひ観察してみてください。(鈴木)



↑らんま先生のパフォーマンスは、大好評でした！

→NPO たかはまさんの発表。3つの部会の内、清流会、水明会の皆さんが稗田川で活動しています。



←ひえ田川クラブさん。水質調査の他、いかに作りなど様々な活動の様子を発表していただきました。

取組事例発表は、「NPO たかはま」と「高取小学校ひえ田川クラブ」さんに、日頃の稗田川での活動について発表していただきました。ひえ田川クラブさんには、学校の第二校歌「ひえ田川の歌」も元氣いっぱい披露していただきました。

eco実験パフォーマンスの「らんま先生」による講演では、ご本人が行ってきた活動の紹介の他、様々なパフォーマンスが行われました。観客の皆さんと掛け合いながらのパフォーマンスは大好評！終始笑顔の絶えない明るい講演でした。

油ヶ淵流域市民モニタリング
ふちもに情報局
vol. 67
平成26年11月発行

発行
愛知県環境部水地盤環境課
調整・生活排水グループ
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1-2
電話:052-954-6219
Mail:mizu@pref.aichi.lg.jp